

# 道標ない旅

自分も人も大切に  
～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～



◆◆ 5月の行事予定をお伝えします。 ◆◆

令和4年		5月行事予定	授業時数							
日	曜日	週	1	2	3	4	5	6	60	モ
1	日									
2	月	A	春の遠足予備日(視力検査(6年))	4	5	5	5	5	5	●
3	火		憲法記念日							
4	水		みどりの日							
5	木		子どもの日							
6	金	A	抗菌作業日	4	5	5	5	5	5	●○
7	土									
8	日									
9	月		通常授業開始(1年) 地域訪問①14:20下校 掃除無5時間	5	5	5	5	5	5	
10	火	B	掃除有5時間 地域訪問② 心電図検査(1年)	5	5	5	5	5	5	○
11	水		プール(5年①) 地域訪問③ 掃除無5時間	5	5	5	5	5	5	○
12	木	週	朝の集い(月目標) 地域訪問④ SC来校日 掃除有5時間 代表児童会 尿検査一次②二次①	5	5	5	5	5	5	
13	金		掃除無5時間 地域訪問⑤	4	5	5	5	5	5	○
14	土									
15	日									
16	月		引き渡し訓練	5	5	5	5	5	5	●
17	火	A	心電図(前回欠席者)	5	5	6	6	6	6	○
18	水		耳鼻科検診(2・5年)13:30～ 職員会議 SC来校日	5	5	5	5	5	5	●○
19	木	週	朝の集い(児童) 眼科検診(全年)	5	5	5	6	6	6	
20	金		尿一次センター受付 内科検診(4年)	4	5	5	5	5	5	●○
21	土		南郷中学校体育祭							
22	日									
23	月		委員会活動② 避難訓練①	5	5	5	5	6	6	●
24	火	B	聴力検査(3年) 内科検診(1年)	5	5	6	6	6	6	○
25	水		プール(6年②) 歯科検診(2-2、2-3、4年)	5	5	5	5	5	5	●○
26	木	週	朝の集い(校長) 代表児童会 聴力検査(5年) 内科検診(3年)	5	5	5	5	5	5	
27	金		聴力検査(1年) 内科検診(2年)	4	5	5	5	5	5	●○
28	土									
29	日									
30	月	A	プール(6年③・5年②) 聴力検査(2年)	5	5	5	5	5	5	●
31	火	週	プール(3年①・1年①) 授業参観(6年)	5	5	6	6	6	6	●○

- (1) SC来校日は以下の通りです。  
5月12日(木) ○○SC 写真右  
5月18日(水) □□SC  
ご予約の方は  
教頭まで 875-6860



- (2) 朝の集い  
5月12日(木) 月目標  
5月19日(木) 児童(運営委員会)  
5月26日(木) 校長集会
- (3) クラブ・委員会関係  
5月23日(月) 委員会活動②
- (4) 身体計測関係は  
左のカレンダーや4/7発行「保健だより」にてご確認ください。
- (5) 地域訪問  
5月9日(火)～13日(金)
- (6) 防災・防犯訓練関係  
5月16日(月) 引き渡し訓練  
5月23日(月) 避難訓練
- (7) 授業参観  
5月31日(火) 6年生保護者  
詳しくは、第4号にてご確認ください。
- (8) プール授業  
5月11日(水) 5年生①  
5月25日(水) 6年生②  
5月30日(月) 6年生③・5年生②  
5月31日(火) 3年生①・1年生①

◆◆ マスクはいつまでするのでしょうか。以下、下記論文の抜粋です。 ◆◆

マスクを常に着用していると、子どもたちへの大きなリスクが…。浜松医療センターの矢野邦夫医師が警鐘を鳴らす。(「文藝春秋」2022年4月号より)

『新型コロナウイルスの世界的なパンデミックが始まってから、2年以上が経過しました。この間、感染対策として、「身体的距離の確保」「3密の回避」「ユニバーサル・マスクング」が、当然のようになってきました。

とくに現在は、オミクロン株による「第6波」に襲われている状況ですから、多くの方がマスクの着用をはじめ、感染対策に取り組んでくださっていることに感謝しています。しかし、こんな生活を今後、何十年も続けていくことはできません。誰もが人間らしい生活を送りたいと願っているはずで、また、社会的な問題が大きくなっていることも見逃せません。新型コロナウイルスに関する知見が蓄積されて、対応策の目処が見えてきた今、社会的なダメージが深刻なものにならないために、「出口戦略」を検討すべき時期ではないでしょうか。

私は今年に入ってから、このように唱えています。「7月にはマスクを外そう」この後に説明する3つの条件が揃えば、それは可能で

す。マスクを外そうと言うと、「よく言ってくれた」と賛成する人がいる一方で、「とんでもない」と強い拒否反応を示す人もいます。そこで最初に断っておきますが、私は日本感染症学会の中日本地方会会長を務めたこともある感染症の専門医で、決して医療界の異端派ではありません。病院の現場や、行政の事情なども知った上で、感染症の専門家として、夏にはマスクを外そうと主張していることを、ご理解いただければと思います。

### マスクを外せる3つの条件

**ただ、マスクを外すタイミングを誤ってしまうと、重症者や死者が急増し、社会が大混乱に陥る可能性があります。解除時期は慎重に見定めなければなりません。**考慮すべきポイントは、新型コロナの「重症化」を抑え込めるかどうか。高齢者や基礎疾患のある人が重症化しない状況になれば、感染対策の出口は見えてきます。

私はユニバーサル・マスク解除のタイミングを「7月以降」と設定しました。その頃になれば、新型コロナの重症化を阻止する、次の3つの条件が揃っている可能性が高いからです。

- (1) 3回目のブースター接種の完了
- (2) 抗コロナウイルス薬の普及
- (3) 変異株の弱毒化

変異株については未知数ですが、**今年7月には、(1) 3回目のブースター接種の完了、(2) 抗コロナウイルス薬の普及、という条件が揃う可能性は高い。**そうなると感染者の重症化は、かなり抑え込むことが出来るでしょう。ですから、この段階でマスク着用は、一斉にやめるべきだというのが私の提案です。

ワクチンの効果や、薬の開発、供給スケジュールなどが、私の想定と異なることもあるでしょう。その場合、大人はユニバーサル・マスクの期間を延長するなど、肅々と対応を変えていけばいい。重要なのは科学的な根拠にもとづいた対応をすることです。その点から言うと、これまでの「感染拡大をいかに抑え込むか」という方針は転換すべきでしょう。

マスクを外そうと主張しているのは、このままマスク生活を続けることには、大きなリスクがあることも理由です。一つは熱中症です。夏場、高齢者はクーラーが効いている室内であっても、マスクを着用したままだと熱中症になる危険性があり、最悪の場合は死に至ります。もう一つの大きな問題は、マスクの着用や、過剰なまでの消毒などによって、子どもたちが病原体に感染する機会を奪っていることです。一見、良いことのように見えますが、思わぬ“副作用”を引き起こすこととなります。

それでは実際にユニバーサル・マスク解除すると、どのような事態が起きるのでしょうか。

まず想定されるのは、手足口病やヘルパンギーナといった、子どもが夏に感染する病気が一気に増えることです。ですから小児科の拡充は準備しておいたほうがいい。

大人に関しては、マスクを外すことで、新型コロナの感染者がある程度、増えることは想定されますが、重症化を避けられるのです。多くの人がブースター接種をしていれば重症者の数は多くならない。また感染初期にプロテアーゼ阻害薬を服用することで、重症化を抑制したり、発熱などの症状を改善したりすることが期待できます。つまり、コロナ禍前のインフルエンザと同じような対応に移行していきます。その切り替えのタイミングとしてベストなのが、7月なのです。4月から9月にかけての病院は閑散期です。患者さんが少ないので、院長が「赤字だ」と真っ青になる。それが10月くらいから病床が埋まり始め、冬になると満床になるわけです。ですから閑散期、言葉を変えれば病院のマンパワーに余裕のある夏に、感染の最初のピークを上手く持ってくるのができれば、なんとか乗り切れるはずですよ。

ワクチンは3回目の接種以降も、当面は年に1回の接種が推奨されるでしょう。新たな変異株が出てきて、ワクチンの効果を弱める可能性もあるので、そのような事態に対応するためには追加接種が必要です。ただ3回の接種ですでに基礎的な免疫は獲得されているため、年に1回の接種で免疫力は維持されるはずですよ。

感染症との付き合い方、ベスト、梅毒、天然痘、結核、コレラ……これまで人類は多くの感染症と闘ってきました。これら病原体を完全に根絶させるのは不可能に近いし、人間は無菌室で生きていくわけにはいきません。私たちはワクチンや抗ウイルス薬によって、感染を防いだり、死亡率や重症化率を下げる努力をしつつ、ウイルスと共存する道をさぐるほかないのです。やがては新型コロナウイルスを、5番目の風邪ウイルスとして受け入れていくことになるでしょう。それが、新型コロナと人類の闘いの“落としどころ”となるはずですよ。……以上、論文から抜粋、短くして引用いたしました。

★・・・私は、基本的にこの論文に納得しています。「もう良いのでは？」といわれる保護者の方がいるのも理解していますが、**「マスクを外すタイミングを誤ってしまうと、学校における罹患者が急増し、長柄小の教育活動を平常の状態に維持できなくなる可能性があります。解除時期は慎重に見定めなければなりません。」**と考えています。ユニバーサル・マスク解除のタイミングは、まだと考えて頂ければ良いかなと思っています。

### ◆◆ 4 / 20 葉教研総会を長柄小学校で開催しました。 ◆◆

総会で挨拶する機会がありましたので、葉山町内の先生方に、「・・・新学習指導要領が始まって、小学校で2年が、中学校でも1年がたちました。そして、GIGA スクール構想の前倒しで、日本中で ICT 機器を利用した教育が展開されるようになりました。では、私たちが児童生徒に提供する授業は質的な変化を加えているのでしょうか。**3観点による観点別の到達度評価を実施する以上、今までの授業展開で良いわけがありません。授業の前半に目当てが示され、児童生徒が今日の授業の到達目標を理解した上で、「主体的・対話的で深い学び」となるような授業展開を日々意識した実践が求められます。どう教えるかではなく、どう育てていこうかを考えることが重要になっていきます。**私たちの実践する授業が質的に変化していくことが必要なのです。葉教研部会は、回数こそ少なく、研究を深めて行くには難しい場所ではありますが、小学校と中学校が顔を合わせて教育を語れる機会を提供してくれることもまた一つの事実です。このメリットを活かし、新しい教育課題「小中一貫教育」を実現していく大きな鍵の場となっていくことを期待して止みません。」と伝えました。

### ◆◆ 今年も、プール学習がはじまりました。バスの坂道駐車がはじまりますのでご留意ください。 ◆◆

今年から送迎バスが送迎の待機時間、本校の坂道に2台駐車することになっています。ご留意ください。